

鉄人たちの熱い戦い

2015 佐渡国際トライアスロン大会



9月6日(日)、2015佐渡国際トライアスロン大会兼第19回日本ロングディスタンストライアスロン選手権佐渡大会が開催されました。

今年で27回目を迎え、全国屈指の難コースとして知られる大会には、国内外からおよそ2千人の鉄人が集まり、島内を駆け巡りました。

好天に恵まれた昨年とは違って、かわつて昼前から雨が降り、寒さが選手たちを苦しめました。延べ3千人のボランティアとスタッフが、エイドステーションで選手に飲み物や食べ物を手渡し、コースの誘導や熱い声援で選手を励まし、選手たちはゴールを目指して雄大な佐渡を駆け抜けました。

午前6時、佐和田海水浴場でスイムがスタートし、最長距離の佐渡国際Aタイプでは、スイム3.8km、バイク190km、ラン42.2kmのコースに927人の選手が参加し、午後9時30分までに785人が完走を果たしました。全体の完走者数は、1,623人・チームで、完走率は90.5%でした。選手の皆様、お疲れさまでした。そして、沿道から暖かい声援を送っていただいた市民の皆様、大会をサポートしたボランティアとスタッフの皆様、ありがとうございました。

